

堀田丸正 株式会社



2020年3月期 決算説明会

2020年6月5日

堀田丸正株式会社

代表取締役社長 大西 雅美

(東京証券取引所第2部 証券コード8105)

新型コロナウイルス感染症の影響と当社方針

1. 市場環境

・世界各国で非常事態宣言が発令されたことにより、グローバル経済活動が大きく停滞。

特に中国内販及び欧州向けの事業に影響。

国内も外出自粛や休業要請により経済活動が大きく停滞

2. 休業状況(取引先)

・5月7日時点で全体の90%以上が休業で未稼働状態

ほぼ全国の百貨店は休業状態

東京・大阪を中心とした専門店も休業状態

東北・九州地区の専門店・量販店は一部営業継続

3. サプライチェーン

・地域によって、時短操業・配送頻度の影響は出ているが、海外事業(中国)も正常化し、影響は微少

1. お客様・従業員・関係者の生命と安全を最優先とした危機対応

・社会的要請に応え「感染しない・させない」ための責任ある従業員行動を徹底し、感染拡大状況に応じた迅速な組織対応(テレワーク対応、休業対応)を実施。社会貢献として取引先との協業によるメディカル領域へのアプローチを検討

2. 事業環境悪化を踏まえた、事業損失の最小化

・受注減少を見据えた最適な仕入れ管理により在庫増を抑制
・キャッシュオリエンテッドな視点での更なるキャッシュフロー強化
・経営環境激変を踏まえた、費用・投資計画の見直し

3. 新型コロナウイルス感染拡大の長期化リスクを踏まえた資金政策

・当社の強みである堅固な財務体質を更に強化し、十分な流動性確保
<20年3月期末ベース>

現金及び現金同等物 23億50百万

手持ち資金の活用で新型コロナウイルス収束後を見据えた投資を検討

・海外事業の更なる拡大を念頭に中国法人増資検討
・事業領域拡大策推進のため、事業会社買収検討

決算概要

①第3Q累計で営業黒字実現も、第4Qにおける新型コロナウイルス感染拡大の影響で、売上が大幅減少し、営業赤字

- ・第4Q期間での売上前年同期比71%(▲4億60百万)
- ・売上総利益は、粗利管理の徹底策で前年比106%
- ・販売管理費は販売員契約見直しで一層の削減
- ・第4Qの減収インパクトが多大で、累計黒字化未達

②財務状況は、新型コロナウイルス影響も健全な状態を維持。

<20年3月期末ベース>

現金及び現金同等物 23億50百万

無借金経営を継続

流動性向 493%

手元流動性比率 約5か月(前期コロナ影響前月商で)

自己資本比率 79.8%

③株主還元策の継続実施

- ・昨年拡充した株主優待制度を同条件で継続

連結損益計算書(通期)

堀田丸正 株式会社

- 売上高:新型コロナウイルス影響により、第4Q前年同期比71%となり、年間で減収
- 売上総利益:洋装事業を中心に、粗利管理の徹底、旧品処分の推進が奏功し、増益
- 販管費:販売員契約の見直し等により、大幅な削減が実現
- 営業利益:第3Q累計で黒字化実現も、第4Qの売上減少影響で赤字

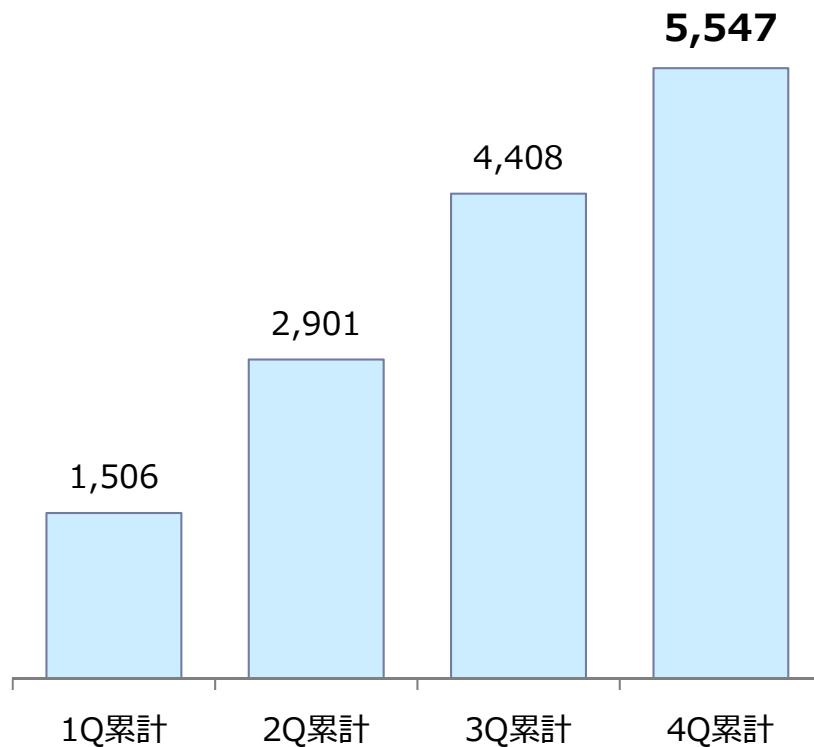
(単位:百万円)

	2019年3月期 通期	2020年3月期 通期	増減額	前期比
売上高	6,665	5,547	▲1,118	83%
売上総利益	1,602	1,696	+94	106%
販管費	2,039	1,903	▲136	93%
営業利益	▲437	▲207	+230	—
経常利益	▲419	▲206	+213	—
当期純利益	▲465	▲144	+321	—

意匠燃糸事業への経営資源の集中、洋装事業の粗利管理の徹底と販売費の大幅削減等で第3Q累計で黒字化達成も、新型コロナウイルス感染拡大が第4Q累計に直接影響

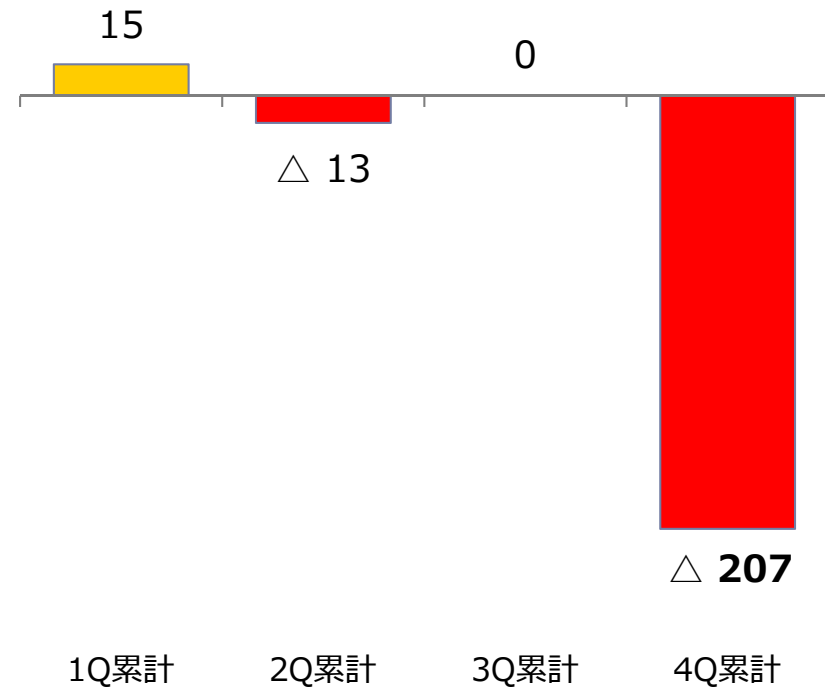
売上

(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)



セグメント別実績(通期)

堀田丸正 株式会社

- コア事業である意匠燃糸は国内事業が増加も海外事業が悪化で減益
 - 洋装事業は粗利管理の徹底と旧品販売強化で利益が大幅改善
 - 寝装事業はギフト事業が牽引し黒字継続も和装は売上減少に歯止めかからず
- (百万円：%)

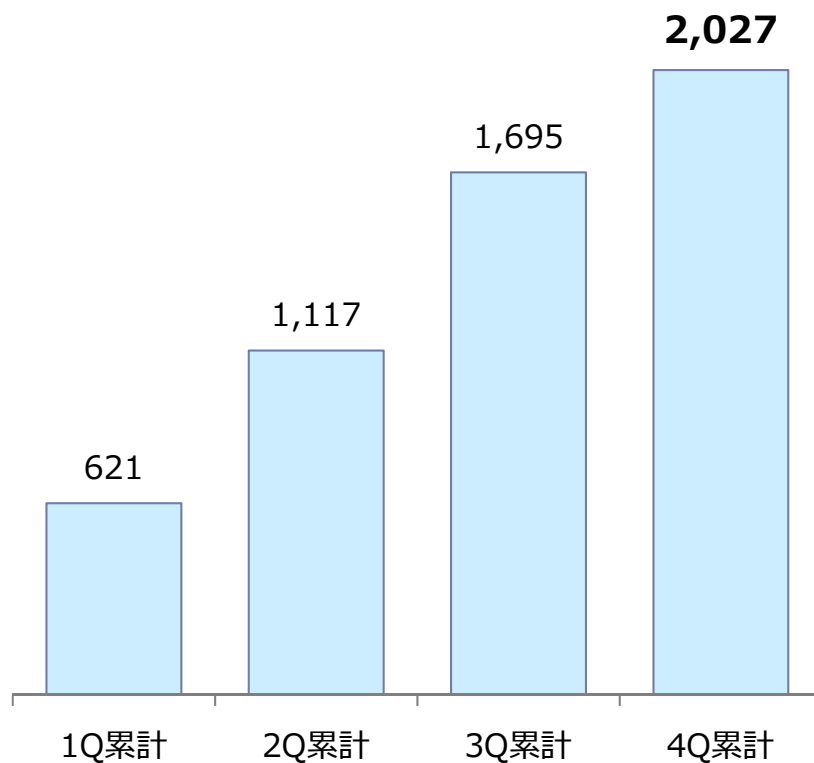
	売上高				セグメント利益			
	2019/3	2020/3	増減額	前年同期比	2019/3	2020/3	増減額	前年同期比
連結	6,665	5,547	▲1,118	83%	▲437	▲207	+230	—
洋装事業	2,483	2,027	▲456	81%	▲411	▲26	+385	—
意匠燃糸事業	2,124	1,803	▲321	84%	149	99	▲50	66%
和装事業	1,483	1,177	▲306	79%	15	▲54	▲69	—
寝装事業	573	537	▲36	93%	35	28	▲7	80%
本社・調整	—	—	—		▲227	▲254	▲27	—

※連結売上高、経常利益、当期利益は連結相殺を含んでおります。

粗利管理の徹底、販売員契約の見直し等による販管費の大幅削減で第3Q累計で大きく黒字計上も、第4Qにおける新型コロナウイルスによる影響で主力百貨店等での催事縮小や中止などによる売上の急激な減少が影響

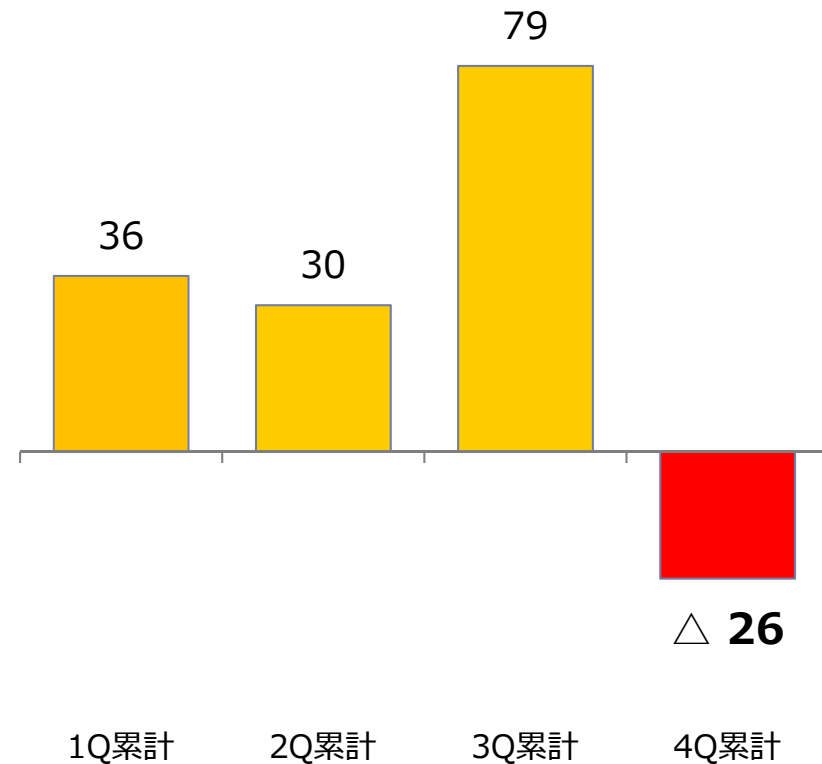
売上高

(単位：百万円)



営業利益

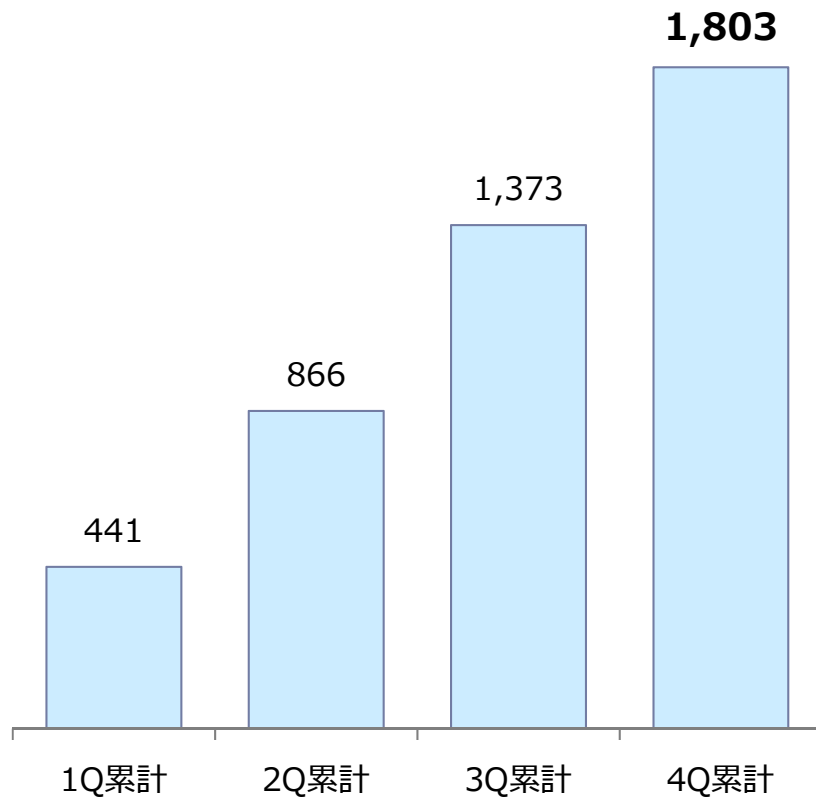
(単位：百万円)



国内事業が中国への輸出拡大により売上増加したが、海外事業が中国経済の成長鈍化、米中貿易摩擦の影響に加えて新型コロナウイルスの影響で苦戦。OEM事業は、国内アパレルからの受注減で売上減少。

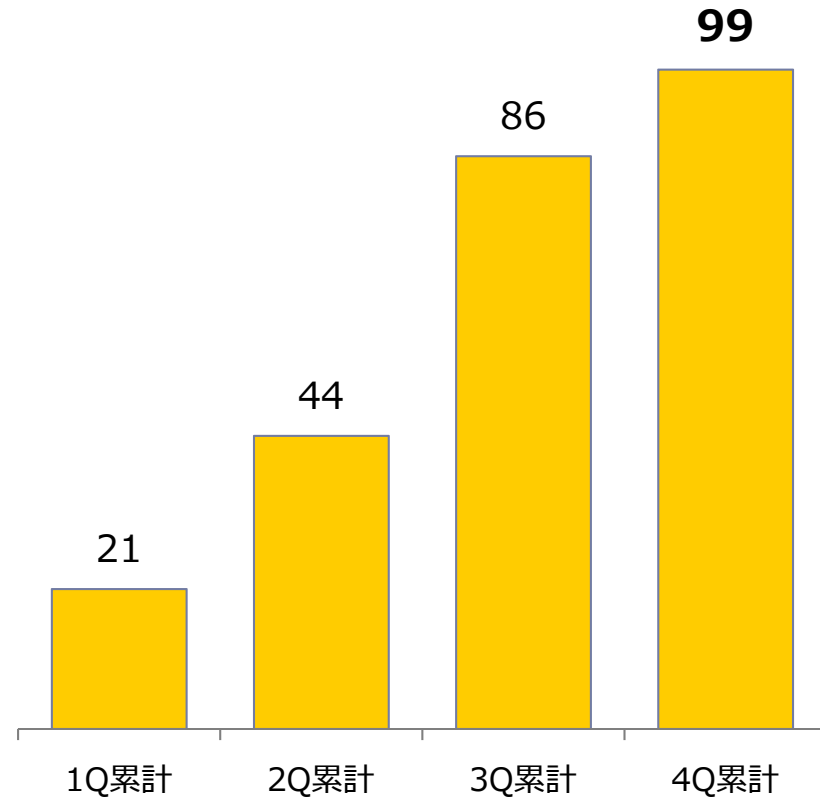
売上高

(単位：百万円)



営業利益

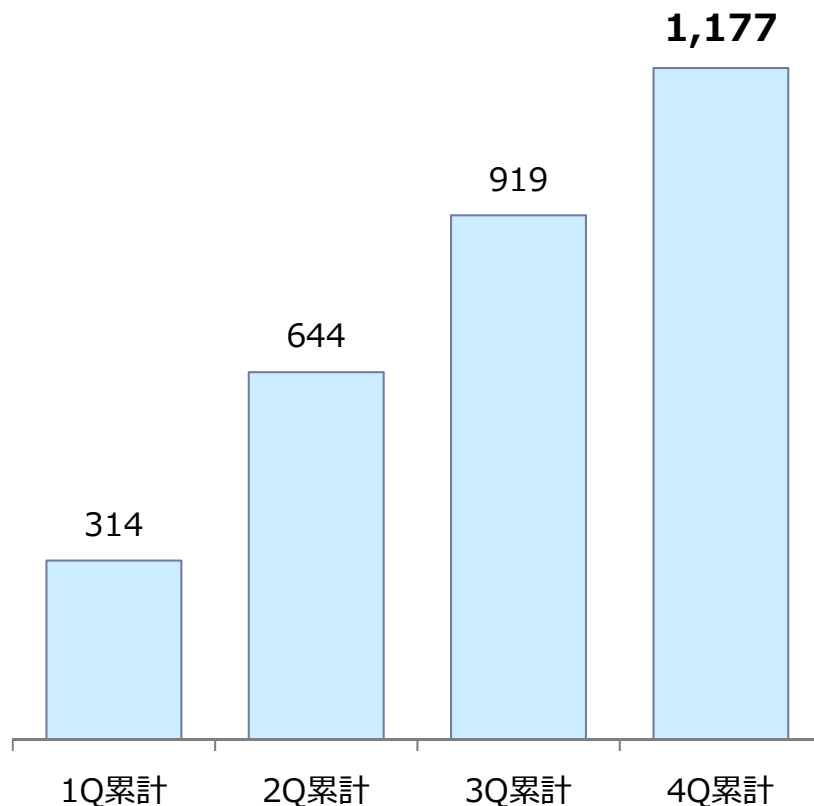
(単位：百万円)



トップラインの減少傾向に歯止めがかからないことに加えて、主力取引先の倒産、第4Q以降新型コロナウイルスの影響で主力百貨店、専門店における催事延期、中止が一層の売上減少に拍車がかかる

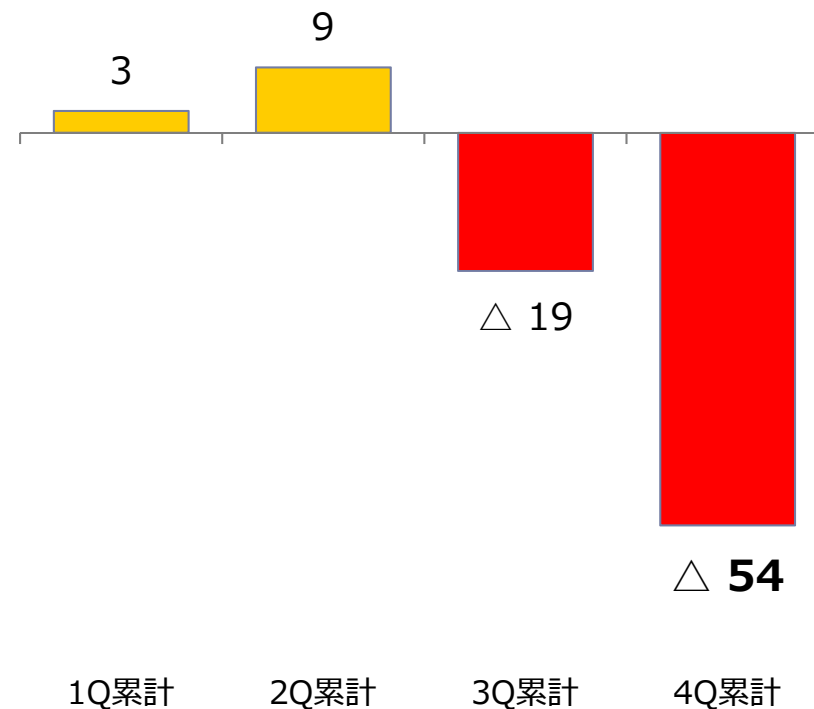
売上高

(単位：百万円)



営業利益

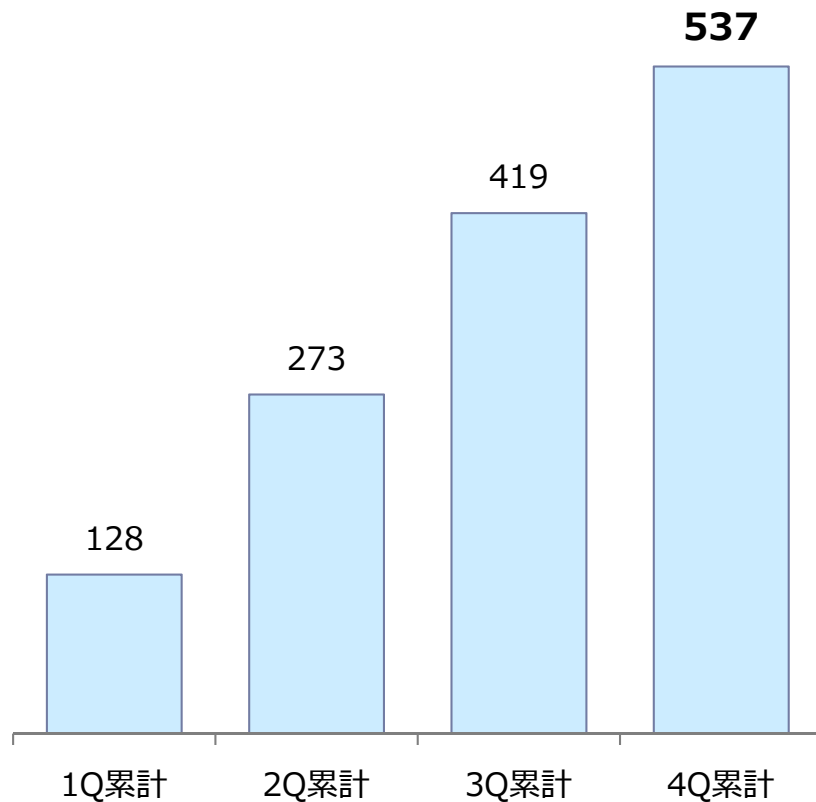
(単位：百万円)



寝装事業は量販店・専門店においてマットレス・寝装品が苦戦、
東北のギフト事業が順調に推移したことで前期並み利益確保

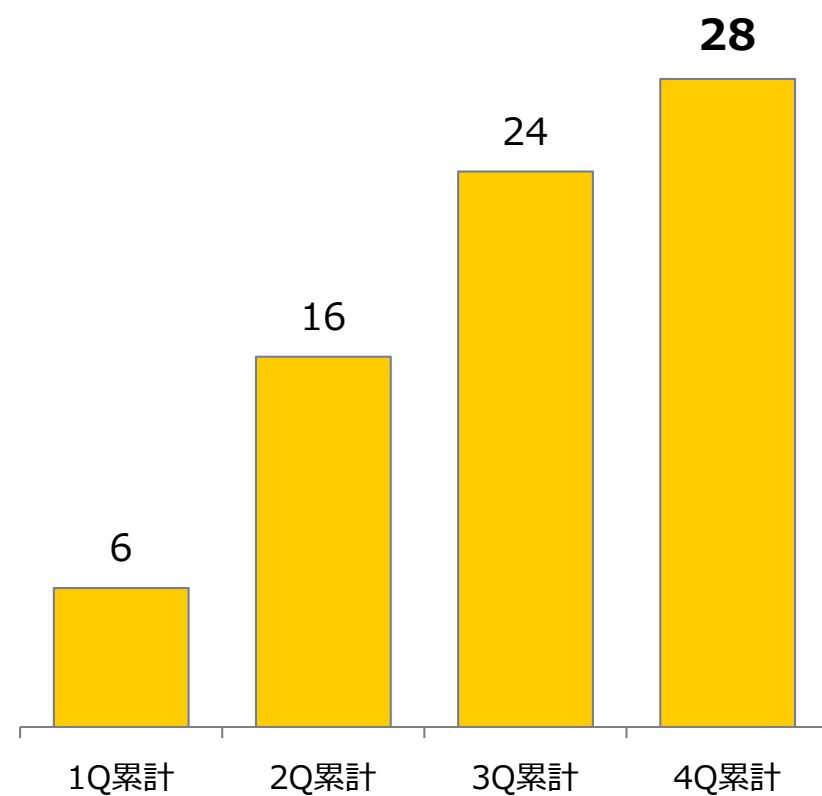
売上高

(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)



■ RIZAPグループと連携した魅力的な優待を継続実施

優待内容

当社商品を含むRIZAPグループ各社の商品から
ご希望の優待商品をお選び頂き、贈呈いたします。

- RIZAPグループ商品 2,000円相当
500株以上、1500株未満
- RIZAPグループ商品 6,000円相当
1500株以上、2500株未満
- RIZAPグループ商品 10,000円相当
2500株以上

権利確定月：3月末日(2020年3月期)



連結貸借対照表

単位:百万

堀田丸正 株式会社

資産の部	2019/3 期末	2020/3 期末	増減額	負債・ 純資産の部	2019/3 期末	2020/3 期末	増減額
流動資産	5,442	4,853	▲589	流動負債	1,430	984	▲445
固定資産	279	254	▲24	固定負債	50	45	▲5
資産合計	5,722	5,107	▲614	純資産	4,241	4,077	▲163
				負債・純 資産合計	5,722	5,107	▲614

今後の経営方針

①コア事業である意匠撚糸事業の一層の拡大

- ・中国内販向けへのアプローチ再強化
- ・欧州向けの提案強化。売上拡大
- ・経営資源の集中投下

②第2の柱である洋装事業の飛躍的な収益改善

- ・構造改革が終了した馬里邑事業のプロフィット化
- ・順調なアパレル事業の一層の拡大強化
- ・ベビー・子供の再建による丸福事業の再成長

③持続的成長のための経営基盤の確立推進

- ・事業領域拡大による将来リスクの軽減
- ・事業ポートフォリオの見直しに着手

新型コロナウイルス感染拡大/収束の見通しが不透明な状況において、現時点で合理的な業績予想数値の算出が困難であるため、算出が可能になり次第、速やかに発表予定。

免責事項

本資料は、当社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性・完全性を保証または約束するものではなく、今後、予告なしに変更されることがありますので予めご了承ください。